

令和4年第1回定例会

富良野市議会会議録

令和4年3月1日（火曜日）午前10時00分開会

◎議事日程（第1号）

- 日程第 1 会議録署名議員の指定  
日程第 2 会期の決定  
日程第 3 令和4年度予算の概要について  
議案第 1号～議案第 8号（提案説明）

◎出席議員（18名）

議長	18番	黒岩岳雄君	副議長	13番	今利一君
	1番	宮田均君		2番	渋谷正文君
	3番	大西三奈子君		4番	松下寿美枝君
	5番	大栗民江君		6番	関野常勝君
	7番	石上孝雄君		8番	水間健太君
	9番	小林裕幸君		10番	家入茂君
	11番	本間敏行君		12番	佐藤秀靖君
	14番	宇治則幸君		15番	日里雅至君
	16番	天日公子君		17番	後藤英知夫君

◎欠席議員（0名）

◎説明員

市長	北猛俊君	副市長	石井隆君
総務部長	稲葉武則君	スマートシティ戦略室長	西野成紀君
市民生活部長	山下俊明君	保健福祉部長	柿本敦史君
経済部長 兼ぶどう果樹研究所長	川上勝義君	建設水道部長	小野豊君
看護専門学校長	澤田貴美子君	総務課長	上田博幸君
財政課長	藤野秀光君	企画振興課長	関澤博行君
教育委員会教育長	近内栄一君	教育委員会教育部長	亀淵雅彦君

監 査 委 員 鎌 田 忠 男 君

監 査 委 員 事 務 局 長 佐 藤 克 久 君

---

◎事務局出席職員

事 務 局 長 井 口 聡 君

書

記 大 津 諭 君

書 記 向 山 孝 行 君

書

記 鷺 見 悠 太 君

午前10時00分 開会  
(出席議員数18名)

## 開 会 宣 告

○議長（黒岩岳雄君） これより、本日をもって招集されました令和4年第1回富良野市議会定例会を開会いたします。

新型コロナウイルス感染防止のため、会議中のマスクの着用を許可いたします。

## 開 議 宣 告

○議長（黒岩岳雄君） 直ちに、本日の会議を開きます。

### 日程第1 会議録署名議員の指定

○議長（黒岩岳雄君） 日程第1、会議録署名議員の指定を行います。

本定例会の会議録署名議員には、会議規則第126条の規定により、

関 野 常 勝 君  
家 入 茂 君  
石 上 孝 雄 君  
小 林 裕 幸 君  
水 間 健 太 君  
後 藤 英知夫 君  
宮 田 均 君  
天 日 公 子 君  
渋 谷 正 文 君  
日 里 雅 至 君  
大 西 三奈子 君  
宇 治 則 幸 君

以上12名の諸君を指定いたします。

なお、本日の署名議員には、

関 野 常 勝 君  
家 入 茂 君

を御指名申し上げます。

## 諸 般 の 報 告

○議長（黒岩岳雄君） 事務局長をして、諸般の報告をいたさせます。

事務局長井口聡君。

○事務局長（井口聡君） -登壇-

議長の諸般の報告を朗読いたします。

市長より提出の事件、議案第1号から議案第23号、報告第1号、報告第2号及び予算の概要につきましては、

あらかじめ御配付のとおりでございます。

次に、議会及び監査委員より提出のありました事件につきましては、議会側提出件名表に記載のとおり、議長にそれぞれ提出がございました。このうち、調査終了いたしました事件につきましては、報告書として御配付のとおりでございます。

その他、議長の閉会中の主な公務につきましては、議長報告として御配付のとおりでございます。朗読は、慣例により省略させていただきます。

次に、本定例会の説明員につきましては、別紙名簿として御配付のとおりでございます。

本日の議事日程につきましても、御手元に御配付のとおりでございます。

以上でございます。

### 日程第2 会期の決定

○議長（黒岩岳雄君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

本定例会の運営に関し、議会運営委員会より報告を願います。

議会運営委員長石上孝雄君。

○議会運営委員長（石上孝雄君） -登壇-

おはようございます。

議会運営委員会より、2月22日に告示されました令和4年第1回定例会が本日開催されるに当たり、2月25日に議会運営委員会を開催いたしましたので、審議した結果について報告いたします。

本定例会に提出されました事件数は、34件でございます。

うち、議会側提出事件は9件で、内訳は、事務調査報告3件、議員派遣報告1件、例月出納検査結果報告3件、定期監査報告1件、財政援助団体監査報告1件でございます。

市長よりの提出事件は25件で、その内訳は、予算15件、条例7件、報告2件、その他1件でございます。

事件外といたしまして、議長報告がございました。

次に、運営日程について申し上げます。

本会議1日目の本日は、会期の決定後、令和4年度予算の概要及び令和4年度各会計予算案として、議案第1号から議案第8号までの提案説明を受け、日程を終了いたします。

本会議2日目の3月2日は、所管事項に関する委員会報告、議員の派遣に関する報告、監査委員報告として、例月出納検査結果報告、定期監査報告、財政援助団体監査報告を受けます。

次に、報告第1号及び報告第2号の報告を受け、議案第9号から議案第23号までの提案説明を受け、その後、

議員全員による予算特別委員会を設置し、日程を終了いたします。

委員会では、予算特別委員会に令和4年度各会計予算案及び関連議案を一括して付託し、休会中審査することで申し合わせております。

本会議3日目の3月3日は、議案第9号から議案第15号までの審議を願い、日程を終了いたします。

3月4日及び7日は議案調査のため、3月5日、6日は休日のため、それぞれ休会といたします。

本会議4日目の3月8日は、市政に関する一般質問を行い、これを終了いたします。

本会議5日目の3月9日は、市政に関する一般質問及び予算総括質疑を行い、日程を終了いたします。

3月10日、11日は議案調査のため、12日、13日は休日のため、14日から16日までは予算特別委員会開催のため、それぞれ休会といたします。

本会議6日目の3月18日は、付託されました令和4年度各会計予算案及び関連する議案第16号の審査結果について、予算特別委員長からの報告を受け、審議を願います。

次に、議案第17号から議案第23号までの審議を願います。

なお、議案第17号につきましては、新規条例につき精査が必要なことから、総務文教委員会に付託し、閉会中審査することで意見の一致を見ております。

最後に、追加議案のある場合は、順次、審議を願い、本定例会を終了いたします。

次に、議案外の運営について申し上げます。

予算総括質疑の通告期限は3月2日の日程終了時までとし、請願、意見案等の提出期限については、3月14日の予算特別委員会の日程終了時までとすることで申合せをしております。

また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う対策としては、昨年の第4回定例会に引き続き、議場に入る議員、説明員の検温を行うことをはじめ、議題や質問に関係しない説明員の出席を求めないこと、一般質問における議員の着席位置を変更し、質問席を設けて質問を行うこと、議場内の換気のため、送風機等を使用すること、マスクの着用をすることで申合せをしております。

また、さきに申し上げたとおり、本会議5日目の3月9日に一般質問と予算総括質疑を行い、日程短縮により接触機会の低減を図る取組を行います。

以上、令和4年第1回定例会の会期は、本日3月1日から3月18日までの18日間とすることで委員会の一致を見た次第であります。

以上、申し上げましたとおり、議員、理事者及び説明員各位の御協力を賜りますようお願い申し上げます、議会運営委員会からの報告といたします。

○議長（黒岩岳雄君） お諮りいたします。

ただいま議会運営委員長より報告のとおり本定例会を運営し、会期は3月1日から3月18日までの18日間とし、うち3月5日、6日、12日、13日は休日のため、3月4日、7日、10日、11日、17日は議案調査のため、3月14日、15日、16日は予算特別委員会のため、それぞれ休会にいたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（黒岩岳雄君） 御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、ただいまお諮りのとおり、本日から18日間と決定いたしました。

---

日程第3

令和4年度予算の概要について

議案第1号から議案第8号（提案説明）

---

○議長（黒岩岳雄君） 日程第3、議案第1号から議案第8号、以上8件を一括して議題といたします。

提案説明に先立ち、令和4年度予算の大綱について説明を求めます。

市長北猛俊君。

○市長（北猛俊君） -登壇-

おはようございます。

令和4年度予算の大綱について御説明申し上げます。

日本経済の状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあり、また、感染の拡大が長期化していることから、各機関における今年度の経済成長率の見通しは下方修正が相次いでおります。

そのような中、政府は、新型コロナウイルス感染症対応に万全を期すとともに、新しい資本主義を起動させ、成長と分配の好循環を実現するとして、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、ウイズコロナ下での社会経済活動の再開と危機管理の徹底、国民の安全・安心の確保、加えて、成長戦略として、科学技術立国の実現によるイノベーション力の強化とクリーンエネルギーの推進、デジタル田園都市国家構想の推進による地域経済基盤の再構築、経済安全保障の抜本的強化による自律的な経済構造の実現、分配戦略として、人への投資による分配機能の強化を図ることとしているところであります。

その裏づけとなる予算は、令和3年度補正予算と令和4年度当初予算を一体的に編成し、切れ目のない万全な財政政策を実行することとし、コロナ禍で傷ついた経済の立て直しを図り、財政投融资の積極的な活用と規制・制度改革、税制改革を活用した総合的な対策を行うこととしております。

本市の予算編成におきましては、人口減少と少子高齢化による生産年齢人口の減少から市税収入の増加が期待

できないことに加え、社会福祉関係経費や公共施設の老朽化に伴う維持管理経費の増大など、依然として厳しい財政状況にあります。国の地方財政対策などを踏まえながら、第6次富良野市総合計画に掲げる主要施策の目標達成に向け、事業推進を行ってまいります。

なお、本年度は、市長選挙を控えていることから、骨格予算として義務的経費や継続的事業を中心に予算編成を行ったところであります。

令和4年度の予算規模は、一般会計141億6,500万円、特別会計55億1,450万円、公営企業会計27億7,870万円、合計224億5,820万円であります。

なお、一般会計の予算規模は、骨格予算のため、前年度当初予算額と比較いたしますと18.9%の減で、全ての会計合わせて前年度当初予算対比11.3%の減であります。

以下、本年度の予算概要につきましては、副市長から御説明申し上げます。

以上です。

**○議長（黒岩岳雄君）** 次に、令和4年度予算の概要について及び議案第1号から議案第8号について、順次、提案者の説明を求めます。

副市長石井隆君。

**○副市長（石井隆君）** -登壇-

おはようございます。

令和4年度各会計予算の概要について御説明申し上げます。

国は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、ウイズコロナ下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え、未来社会を切り拓く新しい資本主義の起動、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱とするコロナ克服・新時代開拓のための経済対策を策定し、令和3年度補正予算と4年度当初予算を一体として編成、EBPMの仕組みなどを活用し、適切かつ効果的な支出を推進するものとしております。

このような方針の下、編成された令和4年度一般会計予算の総額は、前年度対比0.9%増の107兆5,964億円となっております。

地方財政対策につきましては、経済財政運営と改革の基本方針2021を踏まえ、国の一般歳出の取組と基調を合わせつつ、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額について、令和3年度の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することとし、地方財政計画の規模は、前年度対比0.9%増の90兆5,918億円となっております。

歳入では、地方交付税が18兆538億円、前年度対比3.5%の増、一般財源総額は前年度対比1.1%増の63兆8,635億円となっております。

本市の予算編成におきましては、このような国の地方財政対策などを踏まえた上で、第6次富良野市総合計画

に掲げる施策の着実な推進に努めるとともに、事務事業の見直しによる経費の節減、歳入の確保に努め、持続可能な財政基盤を維持するため、事業の優先順位や事業内容の精査により限られた財源の重点配分を図り、本年度は、市長選挙に伴い、骨格予算として経常的な経費や年度当初から執行が必要な経費を中心に予算編成を行ったところであります。

議案第1号、令和4年度富良野市一般会計予算について御説明申し上げます。

令和4年度一般会計当初予算総額は、141億6,500万円、前年度当初予算対比18.9%の減でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

市税は、地域経済の動向等や実績を勘案し、前年度対比3.4%増の25億7,819万1,000円を計上したところでございます。

地方財政計画及び前年度交付見込額等を勘案し、地方譲与税は、地方揮油譲与税、自動車重量譲与税及び森林環境譲与税で、前年度対比13.4%増の2億2,265万6,000円。

利子割交付金は、前年度対比6.7%減の140万円。

配当割交付金は、前年度対比25.5%増の590万円。

株式等譲渡所得割交付金は、前年度対比66.7%増の900万円。

法人事業税交付金は、前年度対比98.0%増の2,970万円。

地方消費税交付金は、前年度対比14.7%増の5億9,640万円。

ゴルフ場利用税交付金は、前年度対比33.3%増の480万円。

環境性能割交付金は、前年度対比138.9%増の2,150万円。

国有提供施設等所在市町村助成交付金は、前年度対比1.4%減の123万4,000円。

地方特例交付金は、前年度対比28.6%減の1,500万円。

地方交付税は、地方財政計画や各項目における基礎数値等を勘案し、普通交付税を前年度対比2.2%増の46億9,190万9,000円、特別交付税を前年度と同額の3億8,000万円を見込み、合わせて50億7,190万9,000円で、前年度対比2.0%の増でございます。

交通安全対策特別交付金は、前年度対比13.3%減の260万円。

分担金及び負担金は、道営農業生産基盤整備事業負担金などの減で、前年度対比29.4%減の1億4,512万8,000円。

使用料及び手数料は、山部診療所診療収入などの増で、前年度対比2.6%増の1億5,463万6,000円。

国庫支出金は、国民健康保険基盤安定、障害者自立支援給付費、低所得者保険料軽減、児童扶養手当支給費、

障害児施設措置費（給付費等）、子ども子育て支援給付、児童手当、生活・医療・介護扶助費などの負担金が12億6,526万9,000円。

地域生活支援事業費、子ども子育て支援、都市再生整備計画事業、雪寒指定路線除排雪事業、東9条道路改良舗装事業、公園施設長寿命化事業、地域住宅、市道橋長寿命化事業などの補助金、交付金が3億4,345万6,000円。

基礎年金等事務、富良野北道路市道清水山線道路改良事業などの委託金が5億1,607万9,000円。

国庫支出金の総額21億2,480万4,000円で、前年度対比9.3%の減でございます。

道支出金は、地籍調査事業、国民健康保険基盤安定対策費、低所得者保険料軽減、障害者自立支援（9ページで訂正）給付費、後期高齢者医療保険基盤安定、障害児施設措置費（給付費等）、子ども子育て支援給付、児童手当などの負担金が5億6,361万7,000円。

重度心身障害者医療給付事業、乳幼児医療費助成事業、子ども子育て支援、中山間地域等直接支払、経営所得安定対策等推進事業費、多面的機能支払、農業次世代人材投資事業、水利施設等保全高度化事業などの補助金、交付金が3億7,970万6,000円。

個人道民税徴収取扱事務、参議院議員選挙、樋門・樋管操作管理、駅前広場除排雪業務などの委託金が5,879万4,000円。

道支出金の総額10億211万7,000円で、前年度対比1.9%の増でございます。

財産収入は、市職員・教職員住宅貸付料、土地・建物貸付料、基金利子、市有林間伐材素材売払収入、固形燃料売払収入などで、前年度対比5.2%減の3,853万9,000円。

寄附金は、ふるさと応援寄附金などで、前年度対比189.4%増の1億5,967万円。

繰入金は、12基金からの繰入金で、前年度対比18.4%減の5億1,273万2,000円。

繰越金は、科目設定で、1,000円でございます。

諸収入は、新型コロナウイルス対策経営支援臨時貸付金収入、後期高齢者医療広域連合受託事業収入、社会及び労働保険料、備荒資金組合交付金、富良野広域連合併任職員人件費等負担金、農業水利施設管理負担金などで、前年度対比34.4%増の4億4,898万3,000円。

市債は、国の地方交付税財源の補填措置として発行する臨時財政対策債、新庁舎建設事業、初期救急医療確保対策事業、環境衛生施設整備事業、東9条及び南6丁目道路改良舗装事業、市道橋長寿命化事業、公園施設長寿命化事業、特別支援教育推進事業などの市債で、前年度対比77.3%減の10億1,810万円。

以上が歳入の概要でございます。

次に、歳出につきまして、性質別に分類して御説明申

上げます。

人件費は、人事院勧告、職員構成などにより、前年度対比0.9%減の24億4,887万3,000円でございます。

物件費は、ふるさと納税推進事業、地域おこし協力隊派遣事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業などにより、前年度対比11.5%増の21億8,329万5,000円。

維持補修費は、各施設・道路の維持補修、除排雪業務などで、前年度対比4.6%増の5億5,529万3,000円。

扶助費は、児童手当、児童扶養手当支給費、障害児通所給付費などの減により、前年度対比0.1%減の24億8,894万5,000円。

補助費等は、山部診療所運営交付金、地域振興消費拡大推進事業補助金、富良野観光ウェブキャンペーン実行委員会交付金などの減により、前年度対比4.0%減の16億2,899万8,000円。

公債費は、前年度対比8.8%増の13億5,458万円。

積立金は、前年度対比30.5%増の1,989万7,000円。

貸付金は、新型コロナウイルス対策経営支援臨時貸付金の減により、前年度対比40.8%減の4,065万5,000円。

繰出金は、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、簡易水道事業特別会計、下水道事業会計の増、介護保険特別会計の減で、前年度対比1.9%増の14億5,250万2,000円。

投資的経費では、普通建設事業費で、新庁舎建設事業、富良野北道路市道清水山線道路改良事業、東9条及び南6丁目道路改良舗装事業、市道橋長寿命化事業、公園施設長寿命化事業などで、前年度対比64.3%減の19億8,196万2,000円でございます。

予備費は、前年度同額で、1,000万円の計上でございます。

次に、議案第2号、令和4年度富良野市国民健康保険特別会計予算について御説明申し上げます。

国民健康保険は、国民皆保険制度の基盤を支え、地域医療の確保と健康増進、福祉の向上に重要な役割を担っておりますが、加入者の高齢化や生活習慣病等の増加による疾病構造の変化、医療の高度化などに伴い、1人当たり医療費は増加傾向にあります。また、被用者保険と比べて所得水準が低いなどの多くの課題を抱えていることから、安定的な運営の確保のため、財政責任を北海道が担い、北海道と市町村の共同運営で実施しております。

令和4年度においても、引き続き被保険者の健康増進による医療費抑制に向けて、富良野市国民健康保険第2期保健事業実施計画に基づき、特定健康診査、特定保健指導を推進することにより、糖尿病等の生活習慣病の予防と重症化予防を重点的に行い、健康増進に努めてまいります。また、国民健康保険運営に不可欠な国民健康保険税の徴収体制や納税相談の強化により、収納率向上に向けた取組を進めてまいります。

令和4年度当初予算は、前年度対比0.1%増の25億6,400万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

国民健康保険税は、被保険者に係る医療給付費分、後期高齢者支援金分及び介護納付金分で、前年度対比4.2%減の5億8,566万4,000円。

一部負担金は、一部負担金の徴収猶予分で1,000円。

道支出金は、普通交付金及び特別交付金として、前年度対比0.1%増の17億2,092万9,000円。

財産収入は、富良野市国民健康保険事業基金利子で3,000円。

繰入金は、一般会計繰入金と基金繰入金で、前年度対比11.4%増の2億5,449万2,000円。

繰越金は、科目設定で1,000円でございます。

諸収入は、被保険者における第三者行為による損害賠償金、保険給付費返納金（9ページで訂正）などで291万円の計上でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます

総務費は、総務管理費、徴税费、運営協議会費の人件費及び経常経費等で、前年度対比0.02%増の6,269万9,000円。

保険給付費は、被保険者における療養諸費、高額療養費、移送費、出産育児諸費、葬祭諸費で、前年度対比0.4%増の16億7,486万4,000円。

保険事業費納付金は、北海道に対する納付金で、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分として、前年度対比1.2%減の7億8,249万2,000円。

共同事業拠出金は、1,000円。

保健事業費は、保健事業費及び特定健康診査等事業費で、前年度対比12.4%増の3,808万7,000円。

基金積立金は、富良野市国民健康保険事業基金利子積立金で4,000円。

公債費は、一時借入金利子で35万3,000円。

諸支出金は、一般被保険者及び退職被保険者等の過年度分保険税還付金で250万円。

予備費は、前年度同額で300万円の計上でございます。

次に、議案第3号、令和4年度富良野市介護保険特別会計予算について御説明申し上げます。

介護保険制度は、利用者の選択により、保健、福祉、医療の介護サービスを総合的かつ効率的に提供するもので、令和3年度から令和5年度までは、第8期介護保険事業計画に基づき運営を行っていくものであります。

令和4年度予算は、前年度保険給付費実績等を勘案し、前年度対比2.0%増の24億3,950万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

介護保険料は、65歳以上の第1号被保険者の特別徴収及び普通徴収保険料で、前年度対比0.3%増の4億2,948

万9,000円。

分担金及び負担金は、介護認定審査会に係る本市を除く構成町村の負担金で、前年度対比1.9%増の550万5,000円。

国庫支出金は、介護給付費負担金、調整交付金、地域支援事業交付金、介護保険事業費補助金及び保険者機能強化推進交付金で、前年度対比3.4%増の5億9,758万4,000円。

支払基金交付金は、40歳以上65歳未満の第2号被保険者の保険料分の介護給付費交付金及び地域支援事業交付金で、前年度対比2.5%増の6億2,266万8,000円。

道支出金は、介護給付費負担金及び地域支援事業交付金で、前年度対比1.9%増の3億5,993万8,000円。

財産収入は、介護保険給付費準備基金利子で、8万7,000円。

繰入金は、介護給付費繰入金、地域支援事業繰入金、介護認定事務に要する費用や職員給与費などの一般会計繰入金及び低所得者保険料軽減繰入金並びに介護保険給付費準備基金繰入金で、前年度対比0.8%増の4億1,374万2,000円。

繰越金は、科目設定で、1,000円でございます。

諸収入は、社会及び労働保険料、サービス計画費などで、前年度対比8.4%増の1,048万6,000円の計上でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

総務費は、総務管理費、徴収費（9ページで訂正）、介護認定審査会費の人件費及び経常経費などで、前年度対比12.5%減の6,710万8,000円。

保険給付費は、介護サービス等諸費及び高額介護サービス等費で、前年度対比2.7%増の22億4,092万5,000円。

地域支援事業費は、介護予防・生活支援サービス事業費、一般介護予防事業費及び包括的支援事業・任意事業費で、前年度対比1.2%減の1億3,033万円。

基金積立金は、介護保険給付費準備基金積立金で8万7,000円。

公債費は、一時借入金利子で25万円。

諸支出金は、償還金及び還付加算金で、前年度対比3.2%減の30万円。

予備費は、前年度同額で、50万円の計上でございます。

次に、議案第4号、令和4年度富良野市後期高齢者医療特別会計予算について御説明申し上げます。

後期高齢者医療制度は、後期高齢者に係る医療費を安定的に賄い、持続可能な医療制度を構築するため、市町村が加入する北海道後期高齢者医療広域連合が運営主体となるもので、令和4年度予算は、前年度対比2.2%増の3億6,650万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

後期高齢者医療保険料は、特別徴収及び普通徴収保険

料で、前年度対比1.0%増の2億3,564万7,000円。

繰入金は、保険基盤安定と職員給与費などの一般会計繰入金で、前年度対比4.3%増の1億3,065万円。

繰越金は、科目設定で、1,000円でございます。

諸収入は、保険料還付金などで、前年度同額の20万2,000円の計上でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

総務費は、総務管理費、徴収費の人件費、経常経費で、前年度対比16.2%増の2,415万1,000円。

後期高齢者医療広域連合納付金は、事務費負担金及び保険料納付金で、前年度対比1.3%増の3億4,164万9,000円。

諸支出金は、保険料還付金及び還付加算金で、前年度同額の20万円。

予備費は、前年度同額で50万円の計上でございます。

次に、議案第5号、令和4年度富良野市簡易水道事業特別会計予算について御説明申し上げます。

簡易水道事業特別会計予算は、簡易水道事業の効率的な運営及び老朽化した動力計装機器の更新により施設の適正な維持管理を図ることとして、令和4年度予算は、前年度対比45.5%減の1億4,450万円を計上した次第でございます。

その概要について、歳入から御説明申し上げます。

分担金及び負担金は、科目設定で、1,000円でございます。

使用料及び手数料は、簡易水道料金及び水道手数料などで、前年度対比0.7%（9ページで訂正）増の3,520万3,000円。

繰入金は、一般会計繰入金で、前年度対15.0%増の7,073万9,000円。

繰越金は、科目設定で、1,000円でございます。

諸収入は、下水道事業会計からの使用料賦課徴収事務委託負担金、量水器取替負担金などで、前年度対比14.7%増の105万6,000円。

市債は、簡易水道事業債で、前年度対比77.6%減の3,750万円でございます。

次に、歳出について御説明申し上げます。

簡易水道費は、人件費などの一般管理費、施設管理費、簡易水道事業費で、前年度対比63.3%減の7,764万3,000円。

公債費は、地方債元利償還金で、前年度対比25.7%増の6,665万7,000円。

予備費は、前年度同額で20万円の計上でございます。

次に、議案第6号、令和4年度富良野市水道事業会計予算について御説明申し上げます。

水道事業会計予算は、業務の予定量を、給水戸数7,700戸、年間総配水量を200万（9ページで訂正）立方メートル、1日平均配水量を5,479立方メートルと予定し、編成

したところでございます。

建設改良事業につきましては、水道水の安定した供給体制の確立のため、道路改良に伴う配水管整備事業を実施してまいります。

第3条予算の収益的収入につきましては、水道事業収益を前年度対比2.3%増の4億4,540万円とし、その内訳は、水道料金を3億6,545万円、受託工事収益で121万円、一般会計などからの負担金及び補助金で5,043万円、長期前受金戻入2,745万8,000円、その他営業収益、受取利息、雑収益で85万2,000円の計上でございます。

収益的支出につきましては、前年度対比1.8%増の4億4,090万円とし、その内訳は、維持管理費で、取水、浄水に係る原水費9,239万4,000円、配水、給水に係る配水及び給水費1億1,120万円、事務的経費として総経費4,461万1,000円、企業債利息で2,936万5,000円、消費税及び地方消費税で1,200万円、雑支出で50万円、予備費で50万円、現金支出の伴わない減価償却費などで1億5,033万円の計上でございます。

第4条予算の資本的支出につきましては、前年度対比14.0%増の3億4,670万円とし、その内訳は、建設改良費の施設整備費で1億883万4,000円、事務費で40万2,000円、量水器取替費で771万円、企業債償還金は、企業債償還元金で2億2,975万4,000円の計上でございます。

この財源といたしまして、第4条予算の資本的収入に計上の企業債4,440万円、負担金6,470万円、総額1億910万円を見込み、不足する財源2億3,760万円は、損益勘定留保資金等で補填するものでございます。

次に、議案第7号、令和4年度富良野市下水道事業会計予算について御説明申し上げます。

下水道事業会計は、令和4年度から地方公営企業法を全部適用し、企業会計としての編成となっております。

業務の予定量につきましては、接続戸数8,300戸、年間総排水量198万立方メートルと予定し、編成したところでございます。

建設改良事業につきましては、快適で衛生的な生活環境の形成と公共水域の水質汚濁防止を図るため、ストックマネジメント基本計画に基づき下水道整備事業を実施してまいります。

第3条予算の収益的収入につきましては、下水道事業収益を7億9,930万円とし、その内訳は、使用料で2億8,808万4,000円、一般会計負担金及び補助金で2億7,804万4,000円、長期前受金戻入で2億3,283万1,000円、その他営業収益、受取利息及び配当金で34万1,000円の計上でございます。

収益的支出につきましては、下水道事業費用を7億9,730万円とし、その内訳は、維持管理費として管渠費で5,395万5,000円、処理場費で2億2,117万4,000円、事務的経費として総係費で4,468万7,000円、企業債利息で

2,908万7,000円、消費税及び地方消費税で1,000万円、雑支出で20万円、特別損失で851万9,000円、予備費で50万円、現金の支出を伴わない減価償却費などで4億2,917万8,000円の計上であります。

第4条予算の資本的支出につきましては5億590万円とし、その内訳は、建設改良費の下水道整備事業費で1億4,615万4,000円、事務費で1,100万4,000円、固定資産購入費で272万9,000円、企業債償還金は、元金償還金で3億4,601万3,000円の計上でございます。

この財源といたしまして、第4条予算の資本的収入に企業債で1億5,460万円、他会計出資金で2,436万7,000円、国庫補助金で7,700万円、負担金、その他資本的収入で3万3,000円、総額2億5,600万円を見込み、不足する財源2億4,990万円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填するものでございます。

次に、議案第8号、令和4年度富良野市ワイン事業会計予算について御説明申し上げます。

ワイン事業会計予算につきましては、業務の予定量を製品製造、製品販売予定数量として194.4キロリットル、ワイン187.2キロリットル、果汁7.2キロリットルを予定し、製品の製造及び販売に必要な予算を見込み、編成したところでございます。

第3条予算の収益的収入につきましては、ワイン事業収益を前年度対比12.1%増の3億9,220万円とし、その内訳は、営業収益で3億8,505万5,000円、営業外収益で714万5,000円の計上でございます。

収益的支出につきましては、ワイン事業費用を前年度対比12.1%増の3億9,190万円とし、その内訳は、管理費用で9,420万円、営業費用で2億8,430万円、営業外費用で1,240万円、予備費で100万円の計上でございます。

第4条予算の資本的支出につきましては、前年度対比3.3%増の2億9,600万円とし、その内訳は、建設改良費で2,960万円、棚卸資産生産費で2億6,340万円、予備費を300万円計上し、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する2億9,600万円は、損益勘定留保資金等で補填をするものでございます。

以上、御説明申し上げました一般会計、特別会計及び公営企業会計を合わせた令和4年度の当初予算総額は224億5,820万円で、前年度対比11.3%の減となった次第でございます。

予算の執行に当たりましては、議会の意思を十分尊重するとともに、簡素で効率的な財政運営に努めてまいります。

なお、一般会計予算案につきましては、総務部長より細部説明を申し上げますので、十分なる御審議をいただきますようお願い申し上げます、予算の概要説明といたします。

○議長（黒岩岳雄君） ここで、10分間休憩します。

午前10時53分 休憩

午前10時59分 開議

○議長（黒岩岳雄君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩前の議事を続行いたします。

訂正の申出がありましたので、許可いたします。

副市長石井隆君。

○副市長（石井隆君） -登壇-

先ほど提案をいたしました予算の概要についてですが、5点ほど御訂正をお願いしたいと思います。

一般会計の4ページになります。4ページの1番下、障害者自立支援給付費について、障害者自立支援給付費と説明をいたしました。正しくは、障害者自立支援給付費でございますので、御訂正をお願いいたしますと存じます。

国民健康保険特別会計の9ページになります。下から3行目になります。保険給付費返納金など291万円の計上がございますが、これを保険給付費返納金などと説明をいたしました。正しくは、保険給付費返納金などでございますので、御訂正をお願いいたしますと存じます。

3点目は、介護保険特別会計予算の12ページでございます。下から3行目、歳出の部分でございます。総務費の部分でございます。総務費は、総務管理費、徴収費でございますが、ここを徴税費と説明をいたしました。正しくは、徴収費でございますので、御訂正をお願いいたしますと存じます。

4点目になります。簡易水道事業特別会計、15ページでございます。真ん中ほどになります。使用料、手数料の部分でございます。前年度対比の率でございますが、0.7%増と説明するところを0.9%増と説明いたしました。正しくは、0.7%増でございますので、御訂正をお願いいたしますと存じます。

5点目でございます。水道事業会計予算の16ページ、水道事業会計の年間総配水量でございます。総配水量が200万立方メートルでございますが、説明は、総配水量200立方メートルと説明をいたしました。正しくは、200万立方メートルでございますので、御訂正をお願いいたしますと存じます。

よろしく願いいたします。

○議長（黒岩岳雄君） 次に、令和4年度富良野市一般会計予算の細部について説明を求めます。

なお、特別会計及び企業会計予算の細部については省略いたします。

総務部長稲葉武則君。

○総務部長（稲葉武則君） -登壇-

おはようございます。

令和4年度富良野市一般会計予算の細部について御説明を申し上げます。

一般会計予算及び予算説明書の御用意をお願いいたします。

1ページをお開きいただきたいと存じます。

予算第1条は、歳入歳出予算の総額を141億6,500万円に定めようとするもので、前年度当初予算対比で18.9%、33億700万円の減でございます。

第1表歳入歳出予算の款項の区分及びその金額につきましては、歳入を2ページから5ページに、歳出を6ページから8ページにそれぞれ記載のとおりでございます。

予算第2条は、継続費で、継続費の事業名、総額、年度及び年割額につきましては、9ページの第2表継続費に記載のとおりでございます。

予算第3条は、債務負担行為5件で、債務負担の行為を行うことができる事項、期間及び限度額につきましては、10ページ、11ページ上段の第3表債務負担行為に記載のとおりでございます。

予算第4条は、地方債18件、限度額が合計10億1,810万円で、起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法について、10ページ、11ページ下段から13ページの第4表地方債に記載のとおりでございます。

予算第5条は、一時借入金で、借入れの最高額を前年度と同額の25億円と定めようとするものでございます。

次に、14ページをお開きいただきたいと存じます。

歳入歳出予算事項別明細書の総括、歳入につきましては、各款ごとの前年度予算額との比較を14ページ、15ページに、歳出につきましては、各款ごとの前年度予算額との比較及び本年度予算額の財源内訳を16ページ、17ページに記載のとおりでございます。

次に、18ページから65ページまでは、1款市税から23款市債までの歳入の事項別明細書でございます。

細部につきましては、先ほど副市長から予算の概要で御説明申し上げたとおりでございますので、省略させていただき、歳出について、各款項目のうち、目で前年度と比較をいたしまして、1,000万円を超える増減のあった項目を中心に、その主な要因について御説明を申し上げます。

68ページ、69ページから73ページでございます。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費は、前年度対比1億1,464万3,000円増の11億2,101万2,000円の計上ですが、増額の主な要因は、162番、地籍調査事業費、200番、ふるさと納税推進事業費の増額などによるものでございます。

次に、74ページ、75ページ中段でございます。

3目文書管理費は、1,905万円減の4,325万5,000円の計上ですが、減額の要因は、100番、文書管理経費のうち、前年度計上の文書管理システム環境構築委託料の

皆減などによるものでございます。

次に、76ページ、77ページから81ページ上段でございます。

6目財産管理費は、27億8,466万4,000円減の10億3,561万4,000円の計上ですが、減額の主な要因は、250番、新庁舎建設事業費の減額によるものでございます。

次に、90ページ、91ページ下段から93ページでございます。

14目電算管理費は、6,438万7,000円増の1億5,095万円の計上ですが、増額の主な要因は、130番、住民情報システム運営管理事業費、207番（債）庁内LANシステム機器更新事業費の増額などによるものでございます。

次に、98ページ、99ページから101ページでございます。

19目文化振興費は、1,452万2,000円減の6,002万3,000円の計上ですが、減額の主な要因は、110番、文化会館維持管理費で文化会館閉館に伴う減額などによるものでございます。

次に、106ページ、107ページ上段でございます。

3項戸籍住民登録費、1目戸籍住民登録費は、2,845万4,000円減の2,218万3,000円の計上ですが、減額の主な要因は、115番、コンビニ交付サービス事業費の減額などによるものでございます。

次に、108ページ、109ページから111ページ上段でございます。

4項選挙費は、2目市長選挙費で1,284万8,000円、3目参議院議員選挙費で1,547万6,000円をそれぞれ新規予算計上し、前年度計上の衆議院議員選挙費1,511万2,000円の皆減でございます。

次に、112ページ、113ページ下段から117ページ上段でございます。

3款民生費、1項社会福祉費、1目社会福祉総務費は、1,480万6,000円増の2億9,084万1,000円の計上ですが、増額の主な要因は、190番、国民健康保険特別会計繰出金の増額などによるものでございます。

次に、124ページ、125ページ下段から127ページ上段でございます。

7目障害者自立支援費は、3,492万9,000円増の8億7,605万5,000円の計上で、増額の主な要因は、130番、自立支援給付事業費の増額などによるものでございます。

次に、130ページ、131ページ下段でございます。

2項児童福祉費2目母子福祉費は、2,465万5,000円減の6,787万7,000円の計上ですが、減額の主な要因は、140番、児童扶養手当支給事業費の減額などによるものでございます。

次に、138ページ、139ページ下段から141ページ上段でございます。

6目子ども子育て支援費は、1,684万2,000円増の3億8,841万8,000円の計上ですが、増額の主な要因

は、110番、子ども子育て支援給付事業費の地域型保育給付金の増額などによるものでございます。

次に、142ページ、143ページから145ページでございます。

4款衛生費 1項保健衛生費 1目保健衛生総務費は、1,376万3,000円増の1億5,269万5,000円の計上で、増額の主な要因は、165番、山部診療所運営事業費の新規予算計上などによるものでございます。

次に、146ページ、147ページ上段でございます。

2目予防費は、3,371万6,000円増の9,568万円の計上で、増額の主な要因は、140番、新型コロナウイルスワクチン接種事業費の新規予算計上などによるものでございます。

次に、164ページ、165ページ下段から169ページ上段でございます。

6款農林業費 1項農業費 3目農業振興費は、4,793万6,000円減の3億6,825万2,000円の計上で、減額の主な要因は、145番、農業担い手育成事業費、220番、防衛施設周辺農業用施設設置事業補助金の減額などによるものでございます。

次に、168ページ、169ページ中段でございます。

4目畜産業費は、6,137万円減の145万9,000円の計上で、減額の主な要因は、前年度計上の道営草地畜産基盤整備事業費の皆減などによるものでございます。

同じく、168ページ、169ページ下段から171ページ上段でございます。

5目農地費は、5億8,038万円減の4,144万9,000円の計上で、減額の主な要因は、190番、基幹水利施設管理事業費の減額と、前年度計上の国営東郷地区土地改良事業負担金及び国営富良野盆地地区土地改良事業負担金の皆減などによるものでございます。

次に、170ページ、171ページ中段でございます。

6目農業基盤整備事業費は、1億1,023万円減の18万9,000円の計上で、減額の主な要因は、100番、道営農業生産基盤整備事業費の各地区事業負担金の皆減などによるものでございます。

次に、172ページ、173ページ下段から175ページでございます。

7款商工費 1項商工費 1目商工業振興費は、4,764万1,000円減の7,133万4,000円の計上で、減額の主な要因は、250番、新型コロナウイルス対策経営支援事業費の減額及び156番、地域振興消費拡大推進事業補助金の皆減などによるものでございます。

次に、176ページ、177ページから179ページ上段でございます。

3目観光費は、2,152万3,000円減の5,094万2,000円の計上で、減額の主な要因は、前年度計上の富良野観光ウェブキャンペーン実行委員会交付金、スノーファンタジ

ー推進協議会補助金の皆減などによるものでございます。

次に、186ページ、187ページ下段から189ページ上段でございます。

8款土木費 2項道路橋梁費 3目道路除雪費は、3,412万3,000円増の3億5,879万5,000円の計上でございますが、増額の主な要因は、100番、除雪対策事業費の除排雪業務委託料の増額によるものでございます。

次に、188ページ、189ページ中段でございます。

4目道路新設改良費は、2億7,598万6,000円増の6億8,230万1,000円の計上でございますが、増額の主な要因は、320番、富良野北道路市道清水山線道路改良事業費の増額と、332番、南6丁目道路改良舗装事業費の新規予算計上などによるものでございます。

同じく、188ページ、189ページ下段の5目橋梁維持費は、4,940万7,000円増の1億1,569万5,000円の計上でございますが、増額の主な要因は、140番、市道橋長寿命化事業費の増額によるものでございます。

次に、190ページ、191ページ下段から193ページ上段でございます。

4項都市計画費 1目都市計画総務費は、1,628万6,000円増の3,337万4,000円の計上でございますが、増額の主な要因は、210番、東5条3丁目地区市街地再開発事業費の増額などによるものでございます。

次に、192ページ、193ページ中段でございます。

2目街路事業費は、2,383万5,000円減の951万2,000円の計上でございますが、減額の主な要因は、前年度計上の東雲通道路改良舗装事業費の皆減によるものでございます。

同じく、192ページ、193ページ下段から195ページ上段でございます。

4目公園費は、2,315万3,000円減の5,314万5,000円の計上でございますが、減額の主な要因は、171番、公園施設長寿命化事業費の減額によるものでございます。

次に、194ページ、195ページ中段から197ページ上段でございます。

5項住宅費 1項住宅管理費は、2,381万1,000円減の3,356万4,000円の計上でございますが、減額の主な要因は、130番、公営住宅長寿命化事業費の減額などによるものでございます。

次に、196ページ、197ページ下段でございます。

住宅建設費は、1億9,094万8,000円の皆減でございます。

次に、206ページ、207ページ下段から209ページ上段でございます。

9款教育費 2項小学校費 1目学校管理費は、1,018万4,000円増の1億2,907万2,000円の計上でございますが、増額の主な要因は、100番、小学校管理費での燃料費の高騰など学校配当分の増などによるものでございます。

次に、208ページ、209ページ下段から211ページでございます。

2目教育振興費は、1,110万円減の4,679万1,000円の計上でございますが、減額の主な要因は、105番、教育用コンピュータ整備事業費の減などによるものでございます。

次に、210ページ、211ページ下段から213ページ上段でございます。

3項中学校費1目学校管理費は、1,173万9,000円減の5,581万4,000円の計上でございますが、減額の主な要因は、100番、中学校管理費のうち、樹海中学校閉校に伴う管理費の減などによるものでございます。

次に、226ページ、227ページ中段でございます。

10款公債費1項公債費1目元金は、前年度対比1億1,189万4,000円増の12億9,430万6,000円、2目利子は、前年度対比214万7,000円減の6,027万4,000円を計上してございます。

11款給与費1項給与費1目給与費は、前年度対比3,721万6,000円減の19億3,614万3,000円を計上してございます。

なお、230ページから234ページには給与費明細書、236ページ、237ページには継続費に関する調書、238ページから247ページには債務負担行為に関する調書、248ページ、249ページには地方債現在高の見込みに関する調書をそれぞれ掲載しております。

以上、令和4年度一般会計予算の細部について御説明を申し上げましたが、よろしく御審議を賜りますようお願い申し上げます。

---

## 散 会 宣 告

---

○議長（黒岩岳雄君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

明2日の議事日程は、当日配付いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前11時22分 散会

上記会議の記録に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和 4 年 3 月 1 日

議 長 黒 岩 岳 雄

署名議員 関 野 常 勝

署名議員 家 入 茂